

平成 28 年 11 月 28 日

産業フェアしずおか 2016 ネイチャークラフト出展報告書

1 日 時 平成 28 年 11 月 26 日 (土) ~平成 28 年 11 月 27 日 (日) 9:30~16:00

2 場 所 静岡市駿河区 ツインメッセ静岡

3 参 加 者

日付	内容	参加者数
11/26	ツリー	60名
	名札	12名
	小枝の鉛筆	10名
	ブレスレッド	2名
	カメ	5名
		89名
11/27	ツリー	75名
	名札	18名
	小枝の鉛筆	3名
	コマ	48名
	ブレスレッド	8名
	カメ	3名
		155名
	合計	244名

4 参加イン 11/26：青野、高橋、中川、越智、小嶋、大石、杉山 計7人
ストラク 11/27：青野、高橋、越智、小嶋、小久保、藤田、早川、杉山 計8人
ー

5 状 況 【マツボックリのクリスマスツリー】

今年は、木の実だけでマツボックリツリーを作ってもらうことにしました。例年ですとりボンやビーズなどで煌びやかで母体のマツボックリが見えない状況が多かったので、素材を生かしたシンプルなものを作っていただきました。クヌギやマテバシイなどのドングリ各種、コウヨウザン、ノイバラ、ナンキンハゼ、メタセコイヤ、ツバキ、カボチャなどの実や種子など利用しました。サンプルを見て「これいいねー。」と言ってくれるお客さんが多かったです。材料は変わっても皆さん素敵なツリーを完成させ、サンプルが恥ずかしいほどでした。一人、毎年このツリーづくりを体験しているお子さんが「今年は、さびしいね」と言っていました。自然の良さを伝えたいという趣旨を話し理解してもらいました。完成後その子どもも満足したようで、いつもと違うものができたと言っていました。木の実のツリーは、温かみのある素朴さが生きていて感じてもらえたのではないかと思います。

【ウッドバーニングの木の名札】

受付の見本を見て「これやりたいー」という女の子。2日続けてきてくれたこもいました。繊細な花を上手に写し、しっかり焼き付けて出来栄え上々の名札が完成。参加者はいずれも質の高いものを作っていました。

【小枝の鉛筆とジュズダマプレスレット】

今年は、小枝の鉛筆づくりをメニューに加えましたが、これがなかなかの人気で、見本を見て「これかわいいー」と言ってくれる人が多く、アピール力のあるクラフトだと感じました。芯用の穴は、インストラクターが開けるが先を削るのは子供たち。やや硬い材料だったので苦労しながら削っていました。でも、苦労しながら作ることが意味があると励まし、それに答えながらできた鉛筆を手に、にっこりする子どもが可愛いと思いました。

【亀のクラフト】

シンプルでありながら味わいのある表情の亀。その良さを感じてくれた子どもが亀作りに挑戦してくれました。簡単にネイチャークラフトが体験できることがよかったですね。

(杉山記)

【木のコマづくりとタイムトライアル】

コマづくりの材料は、市販の米ヒバ丸棒（太さ35mm）を厚さ15mmで輪切りし、中心に6mmの穴をあけ、市販のヒノキ丸棒（太さ6mm）を長さ4～5cmに切って芯棒にします。参加者には、このコマにマーカーで色を塗って仕上げてもらい、コマ回しをして遊んでもらいます。今年は48人が参加しました（27日（日）のみ）。

(1) 色塗りは、見本を見せて、「円形状に塗るとききれいな色で回るが、縦に塗ると色が混ざって黒っぽくなるよ。」と説明するだけで、子どもたちの好きなように塗ってもらいます。時間をかけて丁寧に塗る子、短時間に大胆に塗る子というように、子どもたちの性格が出て面白いと思いました。

(2) コマ回し（タイムトライアル）の結果は次のとおりで、概して好成績で（昨年の最高記録は45秒）、かつ、接戦でした。

- 小学校4年生以上の部 1位47秒、2位44秒、3位43秒
- 小学校1～3年生の部 1位37秒、2位36秒、3位33秒
- 小学生未満の部 1位37秒、2位22秒、3位21秒

(藤田記)

【マツボックリのミニクリスマスツリー】

6 記録写真



【ウッドバーニングの木の名札】

【ジュズダマブレスレット】



【木のコマづくりとタイムトライアル】

【木の枝の鉛筆】

